

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力をお願い

昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

糖尿病患者の膵体積とインスリン分泌能、IGF-1 との関係

1. 研究の対象および研究対象期間

2007年6月から2018年12月までに糖尿病・代謝・内分泌内科に入院もしくは外来通院中の糖尿病患者さんについて、入院中、外来で実施された腹部CT（非造影）検査を受けられた患者さん

2. 研究目的・方法

1型糖尿病は自己免疫異常を基盤としたメカニズムによりインスリン分泌能が下がっていくことは知られていますが、近年の研究により1型糖尿病発症時にすでに膵臓が萎縮（小さくなっている）していることも複数の論文で報告されましたが、その萎縮の原因は解明されていません。

また2型糖尿病患者さんの膵臓も同年代の健常者と比較して軽度萎縮していることが報告されるようになり、1型糖尿病、2型糖尿病はともに共通のメカニズムで膵臓の大きさに影響していることが推定されます。

身体の成長、細胞増殖に影響するインスリンとIGF-1というホルモンは、同年代の健常者の方と比較すると1型糖尿病、2型糖尿病患者さんはともに低値であることが分かってきましたが、膵臓の大きさとインスリンとIGF-1の値との関係を検証した研究は過去にありませんでした。

この研究の目的は、多列CT検査から画像解析ソフト（SYNAPSE VINCENT、富士フイルム）を用いて膵体積を測定し、糖尿病患者さんの膵臓の大きさとインスリンとIGF-1との関係を調べることです。

なお、本研究は過去に実施された研究である受付番号：2198（研究者名：笹森 寛人、課題名：CT画像を用いた1型糖尿病患者における膵体積の検討）と受付番号：2916（研究者名：深瀬 絢子、課題名：2型糖尿病患者における膵臓脂肪蓄積と膵β細胞機能の関係に関する研究）で得られた検査結果も一部使用させていただきます。

研究期間

「医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、昭和大学病院 病院長、昭和大学病院附属東病院 病院長の研究実施許可を得てから2021年3月まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：腹部CT（非造影）検査と、患者背景（年齢、性別、身長、体重、糖尿病罹病期間、既往歴、現病歴、嗜好歴、併用薬、合併症）、臨床検査（血液、生化学、尿検査）を調査項目とします。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：医学部内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学部門 氏名：福井 智康

住所：〒142-0054 東京都品川区西中延2丁目1-16 電話番号：03-3784-8947 （内線3124）

研究責任者：福井 智康